

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)**
(平成21年4月)

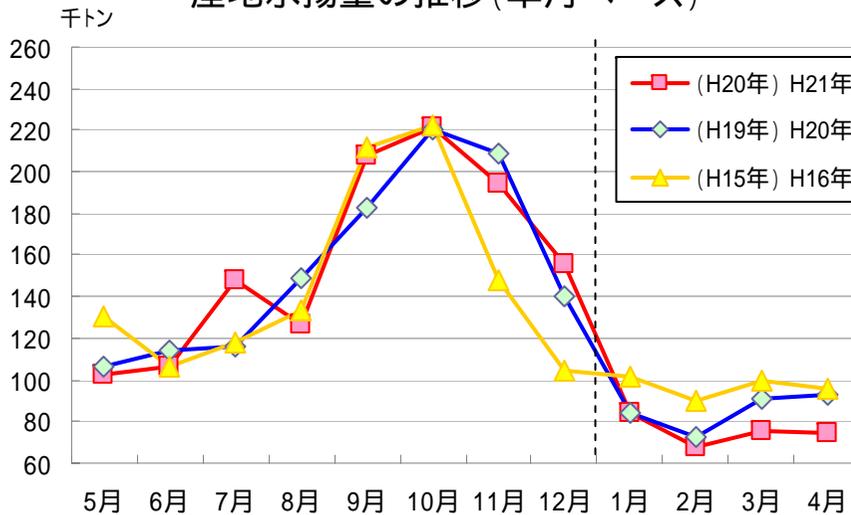
平成21年6月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

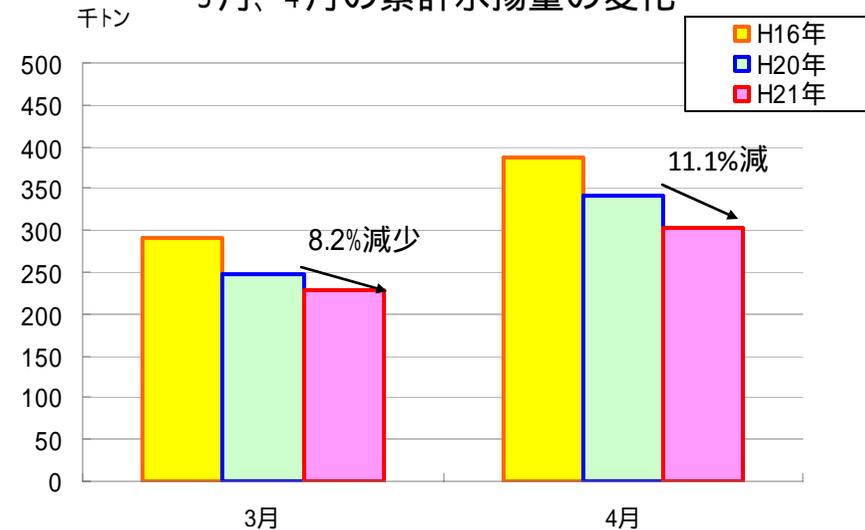
平成21年4月の水産物産地水揚量は75千トで、前年同月と比べ18.9%減少した。これは、さば類(4.9%増)、うるめいわし(49.9%増)等の水揚量が増加した以上に、ほっけ(55.7%減)、かたくちいわし(33.1%減)、まあじ(34.0%減)等の水揚量が減少したためである。

平成21年の水産物の累計産地水揚量は4月までで302千トで、前年同月と比べ11.1%減少し、前年同月比8.2%の減少であった先月から減少幅が拡大している。これは、累月ベースで主に、さば類(24.0%増)で水揚量が増加した以上に、ほっけ(43.0%減)、かたくちいわし(25.0%減)等で水揚量が減少したためである。

産地水揚量の推移(単月ベース)



3月、4月の累計水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	75	75	302
	前年同月比	-1.1%	0.0%	-7.2%	-17.8%	-18.9%	-11.1%
	H16年同月比	-1.7%	-17.1%	-25.5%	-24.9%	-21.6%	-21.9%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

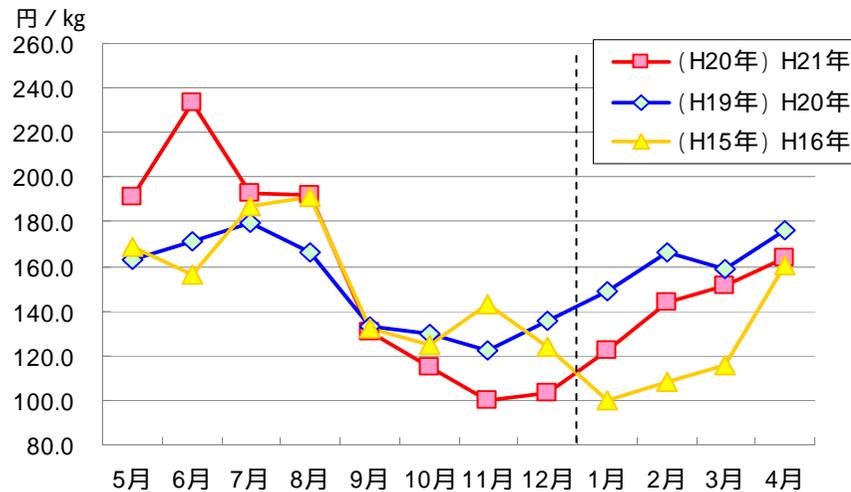
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

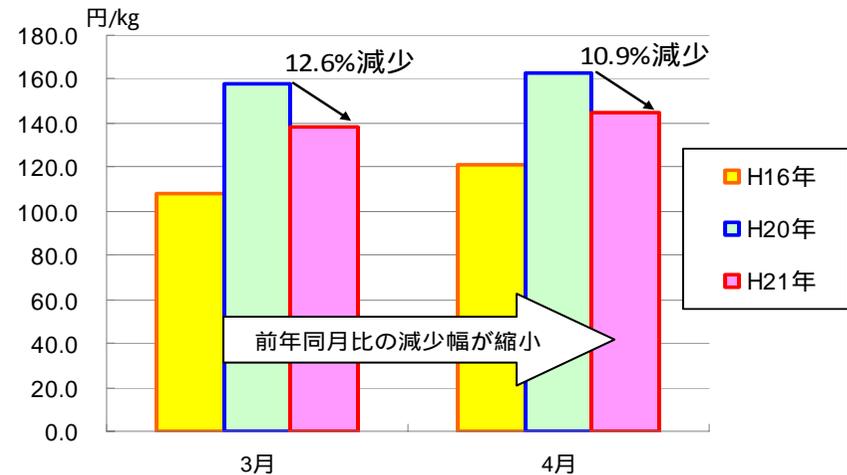
平成21年4月の平均産地卸売価格は164円/kgで、前年同月と比べ7.0%低下した。これは、冷凍きはだ等で水揚金額が増加した以上に、まあじ、かたくちいわし、冷凍かつお等の水揚金額が減少したためである。

平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は4月までで145円/kgで、前年同月と比べ10.9%減少したが、前年同月比12.6%減少であった先月から減少幅は縮小した。これは、累月ベースで、国際相場の影響を受けて価格が低迷している冷凍かつおや、えさ需要が低下しているかたくちいわし等で水揚金額が減少したものの、冷凍近海するめいか、うるめいわし等で水揚金額が増加したためである。

産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



3月、4月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	151	164	145
	前年同月比	4.9%	-17.5%	-13.5%	-4.9%	-7.0%	-10.9%
	H16年同月比	0.0%	22.7%	33.4%	30.5%	2.2%	20.1%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の「」については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～4月	20年 1月～4月	対前年 同期比	平成21年 1月～4月	20年 1月～4月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	72	135	53	5 633	5 756	98
〃 (冷凍)	2	80	209	38	1 883	3 526	53
びんなが (生鮮)	3	9 042	8 958	101	352	365	96
〃 (冷凍)	4	431	475	91	341	314	109
めばち (生鮮)	5	2 020	2 385	85	1 086	1 239	88
〃 (冷凍)	6	5 794	7 427	78	790	757	104
きはだ (生鮮)	7	2 000	1 940	103	836	906	92
〃 (冷凍)	8	2 088	2 842	73	482	504	96
かつお (生鮮)	9	4 732	4 911	96	466	457	102
〃 (冷凍)	10	67 725	70 473	96	152	186	82
まいわし	11	2 418	3 790	64	117	125	94
うるめいわし	12	5 482	4 477	122	70	77	91
かたくちいわし	13	44 156	59 258	75	33	60	55
まあじ	14	23 520	31 141	76	214	198	108
むろあじ	15	7 832	12 540	62	117	95	123
さば類	16	91 134	73 323	124	80	108	74
さんま	17	94	226	42	57	62	92
ほっけ	18	26 647	46 959	57	40	45	89
するめいか (生鮮)	19	4 783	6 621	72	217	166	131
〃 (冷凍、遠洋)	20	4	-	-	197	-	-
〃 (冷凍、近海)	21	2 436	2 287	107	237	210	113

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

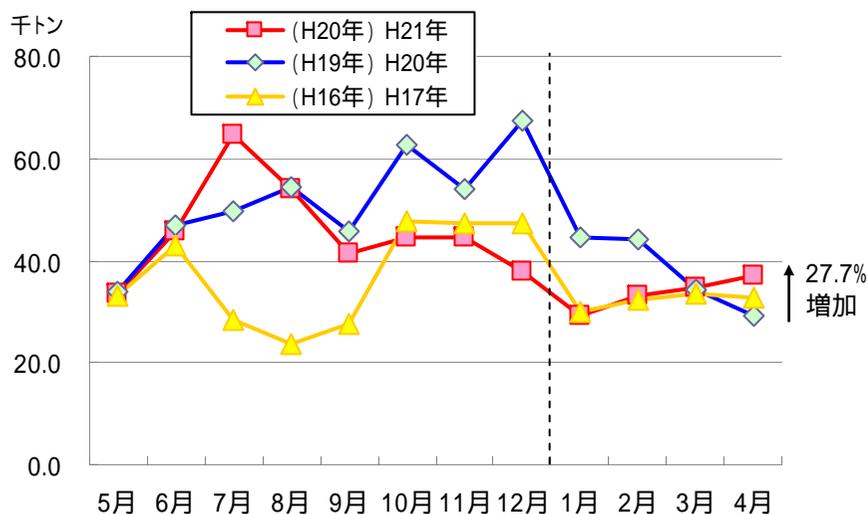
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3 - 水産物輸出数量の動向

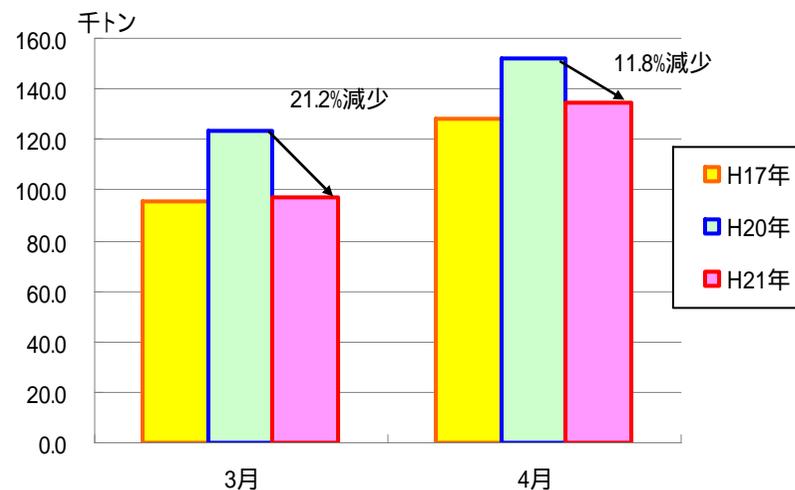
平成21年4月の水産物輸出量は37.2千トで、前年同月と比べ27.7%増加した。これは、かつお類(97.6%減)、たら(53.5%減)等で輸出量が減少した以上に、さけ・ます(272.4%増)、冷凍さんま(82.0%増)、さば(37.8%増)等の輸出量が増加したためである。

平成21年の水産物の累計輸出量は4月までで134.2千トで、前年同月と比べ11.8%減少した。品目別にみると、価格が手頃な日本産の需要が高まった冷凍さんま(23.4%増)等で輸出量が増加。円高や世界的な経済不況の影響によりかつお類(86.2%減)、いか(47.2%減)、さば(11.6%減)等の品目で輸出量が減少した。

水産物輸出数量の推移



3月、4月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	37.2	134.2
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	27.7%	-11.8%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	13.3%	4.4%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

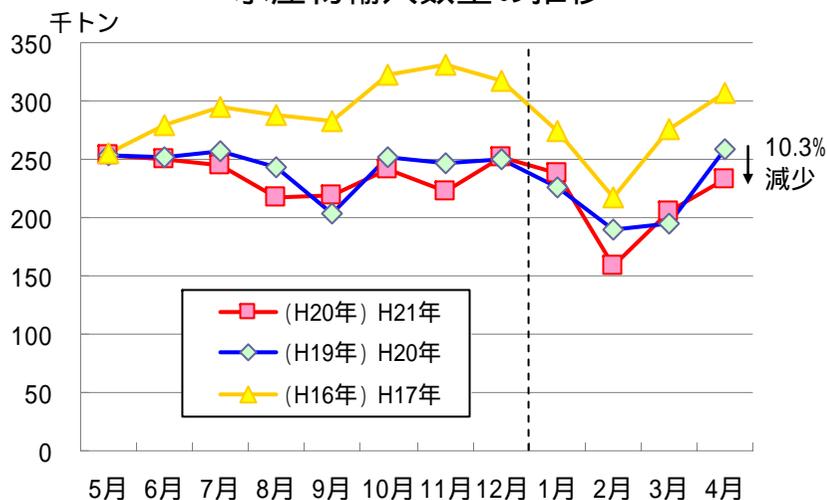
- 注: 1)表中の については、平成16年合計値との比較である。
 2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入数量の動向

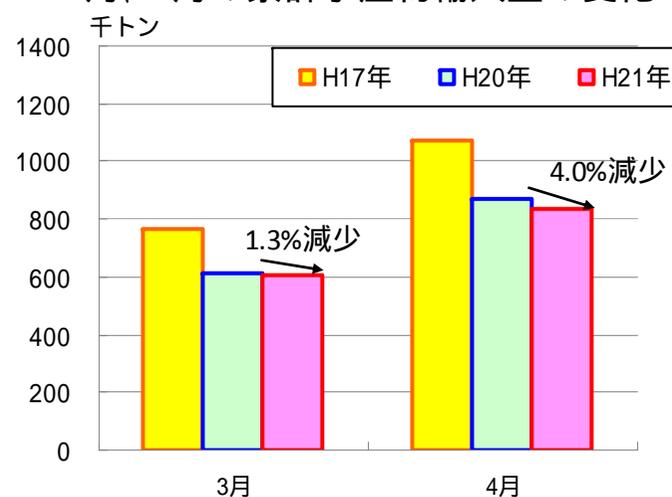
平成21年4月の水産物輸入量は233千トンを、前年同月と比べ10.3%減少した。これは、かつお類(201.6%増)、チリ産トラウトの輸入量が大幅に増加したさけ・ます(7.6%増)等で輸入量が増加した以上に、魚粉(37.5%減)、たら(37.1%減)、たこ(48.9%減)等で輸入量が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸入量は4月までで835千トンを、前年同月と比べ4.0%減少した。品目別にみると、円高や国際価格の低下により需要が増加したかつお類(128.3%増)、魚油(102.6%増)、あじ(45.9%増)等の品目で輸入量が増加。米国産の大幅な減産によりたら(47.4%減)の輸入量が減少。また、さけ・ます(5.5%減)、たこ(36.0%減)等の品目で輸入量が減少した。

水産物輸入数量の推移



3月、4月の累計水産物輸入量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21計
輸入	数量(千トン)	2768	238	159	206	233	835
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-10.3%	-4.0%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-24.3%	-22.4%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

- 注: 1)表中の については、平成16年合計値との比較である。
 2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～4月	平成20年 1～4月	前年 同月比	品目	平成21年 1～4月	平成20年 1～4月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	27.5	31.1	-11.6%	さけ・ます(生・蔵・凍)	100.2	106.1	-5.5%
さんま(冷凍)	22.5	18.3	23.4%	魚粉	89.4	82.3	8.6%
すけとうだら(生・蔵・凍)	18.0	16.0	12.2%	まぐろ類(生・蔵・凍)	75.7	81.3	-6.9%
さけ・ます(生・蔵・凍)	13.6	12.5	9.2%	えび(活・生・蔵・凍)	57.5	56.9	1.1%
いか(生・蔵・凍)	7.2	13.7	-47.2%	あじ(冷凍)	27.2	18.6	45.9%
まぐろ類(生・蔵・凍)	6.1	6.8	-9.6%	かつお類(生・蔵・凍)	19.8	8.7	128.3%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	2.1	2.7	-21.6%	えび(調製)	19.7	20.0	-1.2%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	2.0	2.9	-28.9%	魚油 海獣油	18.7	9.2	102.6%
かつお類(生・蔵・凍)	2.0	14.4	-86.2%	さば(生・蔵・凍)	18.4	23.8	-22.9%
たい(活)	1.8	1.8	0.4%	ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	17.0	17.2	-1.1%

資料：農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

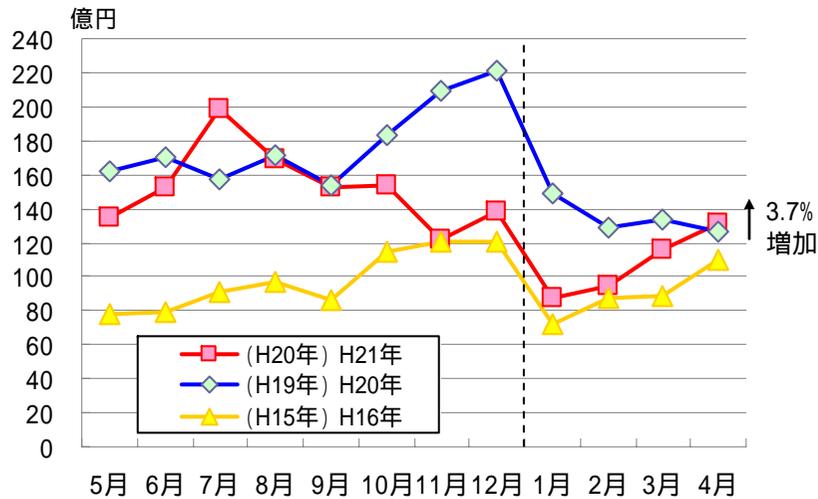
注：1) 本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

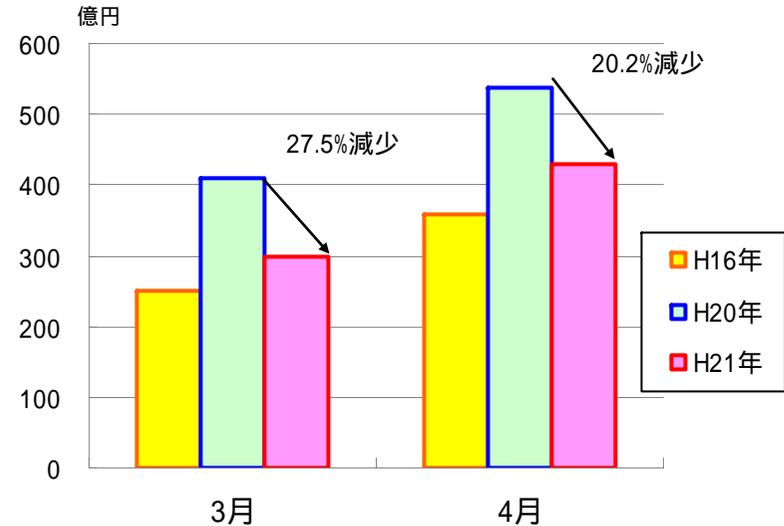
平成21年4月の水産物輸出金額は131億円で、前年同月と比べ3.7%増加した。これは、乾燥なまこ調整品(29.3%減)、かつお類(98.5%減)等で輸出金額が減少した以上に、貝柱調整品(1541.8%増)、さけ・ます(391.1%増)等で輸出金額が増加したためである。

平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は4月までで429億円で、前年同月と比べ20.2%減少した。品目別にみると、ぶり(54.5%増)、貝柱調整品(29.8%増)、さけ・ます(24.2%増)等で輸出金額が増加。円高や世界的な不況の影響によりかつお類(91.0%減)が大幅に減少。また、乾燥なまこ調整品(22.5%減)、ほたて貝(25.9%減)等の品目でも輸出金額が減少した。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



3月、4月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21累計
輸出	金額(億円)	1772	87	94	116	131	429
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	3.7%	-20.2%
	H16年同月比	59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.8%	19.5%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

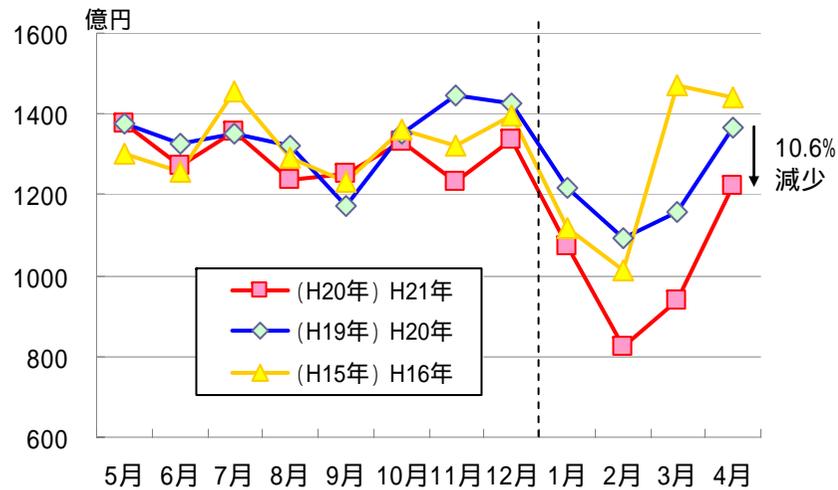
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

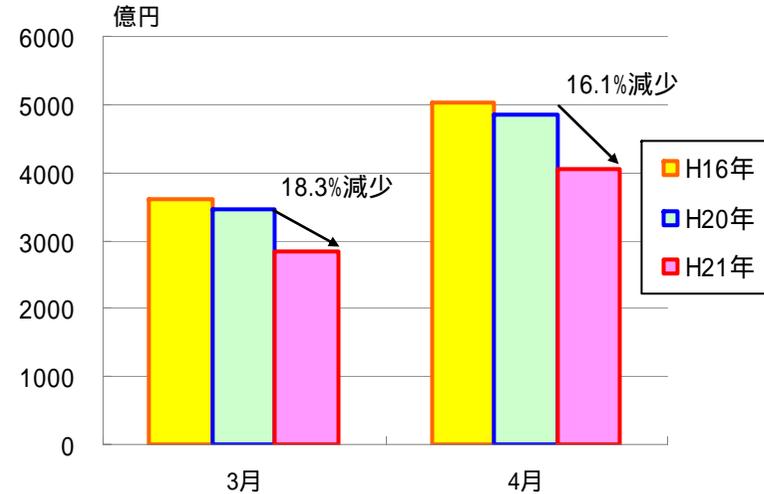
平成21年4月の水産物輸入金額は1,220億円で、前年同月と比べ10.6%減少した。これは、さけ・ます(28.4%増)、まぐろ類(14.4%増)等で輸入金額が増加した以上に、たらの卵(31.5%減)、たこ(69.5%減)、たら(52.2%減)等の輸入金額が大幅に減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は4月までで4,054億円で、前年同月と比べ16.1%減少した。品目別にみると、さけ・ます(4.4%増)、冷凍あじ(52.6%増)で輸入金額が増加。国内需要の低迷や円高によりまぐろ類(21.7%減)で輸入金額が減少。また、米国産の大幅な減産から、たらの卵(47.3%減)、たら(60.9%減)で輸入金額が減少した。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



3月、4月の累計輸入金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21累計
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	1,220	4,054
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-10.6%	-16.1%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-15.2%	-19.5%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～4月	平成20年 1～4月	前年 同月比	品目	平成21年 1～4月	平成20年 1～4月	前年 同月比
真珠	62.2	120.9	-48.6%	まぐろ類(生・蔵・凍)	761.5	973.1	-21.7%
乾燥なまこ(調製)	33.2	42.8	-22.5%	さけ・ます(生・蔵・凍)	515.0	493.5	4.4%
さけ・ます(生・蔵・凍)	30.1	24.2	24.2%	えび(活・生・蔵・凍)	487.2	542.1	-10.1%
貝柱(調製)	26.5	20.4	29.8%	えび(調製)	156.8	168.6	-7.0%
さば(冷蔵・冷凍)	26.4	34.8	-24.1%	かに(活・生・蔵・凍)	107.4	103.5	3.7%
すけとうだら(生・蔵・凍)	25.8	29.1	-11.1%	たらの卵(生・蔵・凍)	104.9	199.2	-47.3%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	25.0	33.7	-25.9%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	103.7	115.4	-10.2%
まぐろ類(生・蔵・凍)	22.5	26.5	-15.2%	真珠	83.7	142.0	-41.1%
ぶり(生・蔵・凍)	18.2	11.7	54.5%	魚粉	78.5	79.2	-0.9%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	16.9	20.3	-16.6%	かに(調製)	69.4	64.2	8.1%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

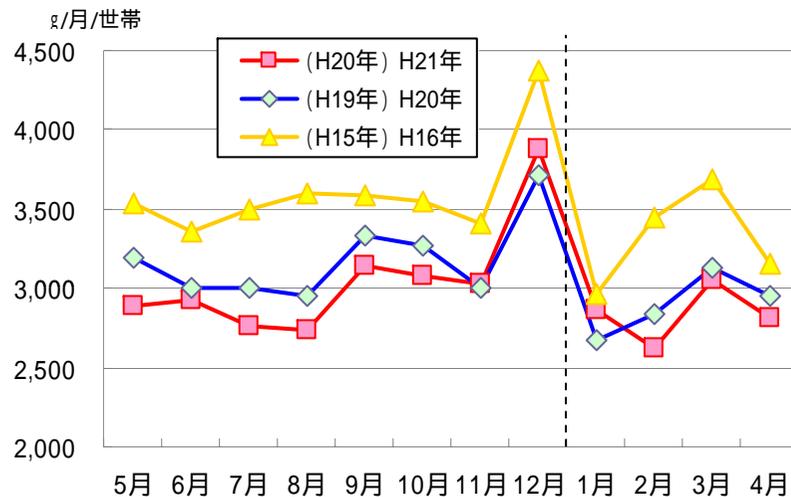
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5 - 生鮮魚介の家計購入数量の動向

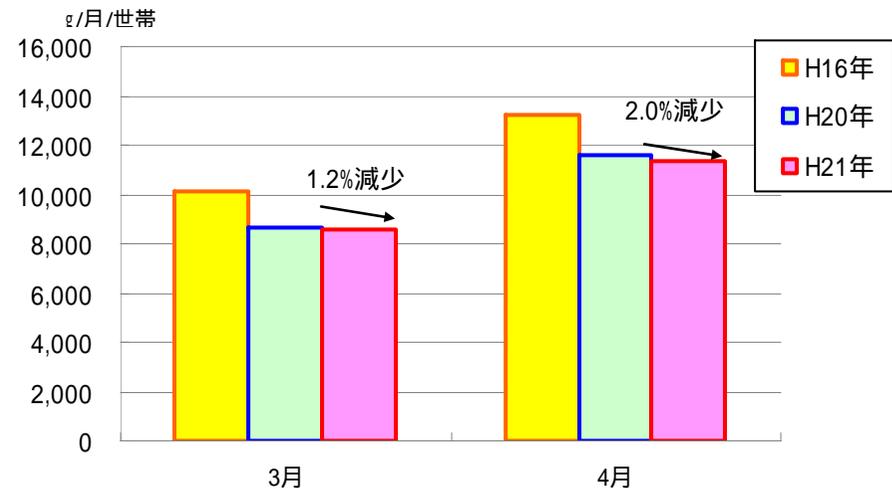
平成21年4月の生鮮魚介1世帯1月当たりの購入数量は2,818g/月/世帯で、前年同月と比べ4.3%減少した。これは、単月ベースでたい(37.5%増)、さんま(17.6%増)、えび(10.1%増)等で購入数量が増加した以上に、いか(15.3%減)、まぐろ(12.0%減)、さしみ盛合わせ(12.6%減)、かれい(14.2%減)等の購入数量が減少したことによる。

平成21年の生鮮魚介1世帯1月当たりの累計購入数量は4月までで11,368g/月/世帯で、前年同月と比べ2.0%減少した。前年同月と比べ累計購入数量が少ないのは、さんま(25.1%増)、えび(7.3%増)、たい(16.7%増)、ほたて貝(11.9%増)等の品目で購入数量が増加した以上に、いか(16.5%減)、まぐろ(9.2%減)、さば(7.8%減)等の品目で購入数量が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり購入数量の推移(単月ベース)



3月、4月の魚介類1世帯1月当たり購入数量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21累計
生鮮魚介 購入数量	数量(g/月/世帯)	36,031	2,868	2,626	3,056	2,818	11,368
	前年同月比	-5.0%	7.2%	-7.6%	-2.5%	-4.3%	-2.0%
	H16同月比	-14.9%	-3.2%	-23.8%	-17.1%	-10.6%	-14.2%

資料:総務省「家計調査報告」

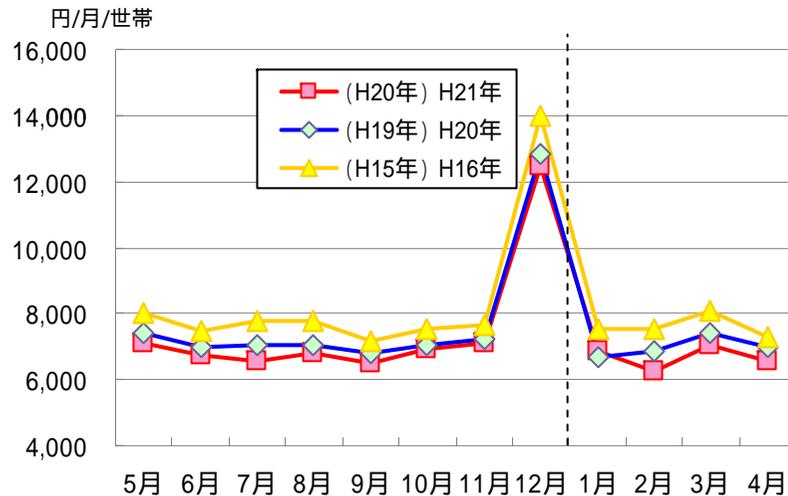
- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 生鮮魚介は、鮮魚16品目、貝類5品目の合計である。

5 - 魚介類の家計消費支出の動向

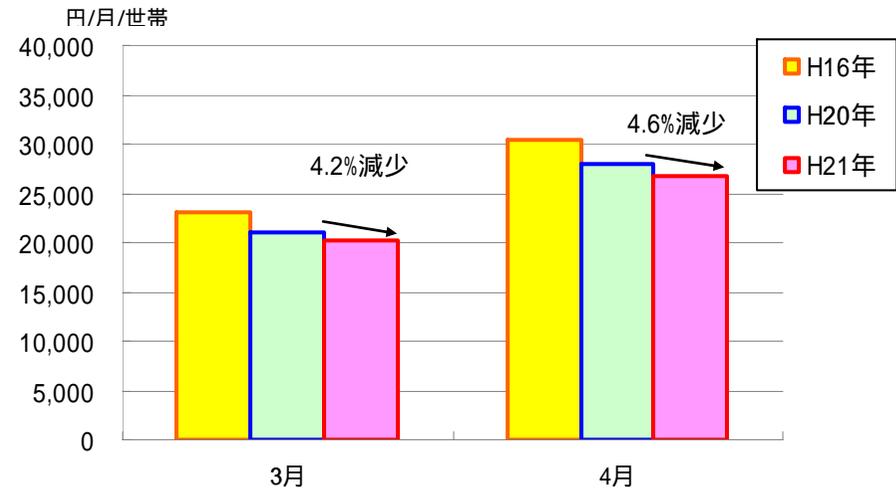
平成21年4月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は6,573円/月/世帯で、前年同月と比べ6.0%減少した。これは、たらこ(16.0%増)、えび(5.6%増)、たこ(14.6%増)で支出金額が増加した以上に、さしみ盛合わせ(9.0%減)、まぐろ(7.7%減)、かつお(15.9%減)等の支出金額が減少したことによる。

平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は4月までで26,693円/月/世帯で、前年同月と比べ4.6%減少した。前年同月と比べ累計支出金額が少ないのは、えび(2.9%増)、さんま(7.4%増)等の品目で支出金額が増加した以上に、まぐろ(10.0%減)、いか(10.3%減)、たらこ(7.9%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



3月、4月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21.4	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	6,573	26,693
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-6.0%	-4.6%
	H16同月比	-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-9.7%	-12.3%

資料:総務省「家計調査報告」

- 注: 1) 表中の については、平成15年合計値との比較である。
 2) 本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。
 3) 魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

(参考) 品目別の1世帯当たり購入数量及び支出金額

品目	購入数量				支出金額				品目	支出金額			
	平成21年 4月	対前年 同月比	平成21年 1~4月	対前年 同月比	平成21年 4月	対前年 同月比	平成21年 1~4月	対前年 同月比		平成21年 4月	対前年 同月比	平成21年 1~4月	対前年 同月比
鮮魚	2,510	-5.1%	10,115	-2.0%	3,534	-6.8%	14,380	-4.9%	塩干魚介	1,203	-8.0%	4,767	-8.0%
まぐろ	205	-12.0%	800	-9.2%	469	-7.7%	1,809	-10.0%	塩さけ	152	-1.9%	608	-4.3%
あじ	145	9.0%	491	-1.8%	136	-8.1%	458	-11.6%	たらこ	247	16.0%	852	-7.9%
いわし	64	-13.5%	251	-4.2%	50	-21.9%	203	-10.2%	しらす干し	120	-12.4%	445	-8.6%
かつお	107	-13.0%	282	-1.7%	164	-15.9%	434	-5.2%	干しあじ	100	-4.8%	382	-6.8%
かれい	121	-14.2%	494	1.9%	152	-14.1%	596	-7.0%	干しいわし	29	-17.1%	153	-14.5%
さけ	254	-7.0%	939	0.0%	345	-4.2%	1,263	-3.0%	煮干し	34	-17.1%	128	-12.3%
さば	109	-2.7%	426	-7.8%	88	-5.4%	373	-8.1%	他の塩干魚介	521	-16.2%	2,199	-8.3%
さんま	107	17.6%	424	25.1%	48	-2.0%	204	7.4%	魚肉練製品	664	-1.6%	2,833	-0.2%
たい	99	37.5%	272	16.7%	141	-0.7%	445	-3.9%	揚げかまぼこ	195	-2.0%	902	1.6%
ぶり	158	-1.3%	702	-3.4%	249	-1.6%	1,193	-5.5%	ちくわ	158	7.5%	620	6.5%
いか	194	-15.3%	789	-16.5%	220	-9.5%	811	-10.3%	かまぼこ	213	-6.6%	814	-6.8%
たこ	65	20.4%	222	6.7%	110	14.6%	388	0.5%	他の魚肉練製品	98	-3.9%	496	0.2%
えび	163	10.1%	630	7.3%	281	5.6%	1,069	2.9%	他の魚介加工品	801	-5.1%	3,025	-3.0%
かに	25	56.3%	221	12.2%	61	-7.6%	488	-0.6%	かつお節・削り節	89	8.5%	310	-0.3%
他の鮮魚	471	-10.3%	2,128	-5.4%	603	-10.5%	2,825	-6.3%	魚介の漬物	211	-8.7%	808	-5.8%
さしみ盛合わせ	159	-12.6%	679	3.2%	417	-9.0%	1,815	0.4%	魚介のつくだ煮	77	-21.4%	307	-12.0%
貝類	305	3.4%	1,252	-0.9%	371	-0.5%	1,687	-2.9%	魚介の缶詰	201	-1.0%	766	3.0%
あさり	152	0.0%	408	-5.8%	146	-1.4%	404	-2.4%	他の魚介加工品の その他	223	-2.6%	835	-2.2%
しじみ	24	0.0%	85	-9.6%	38	15.2%	129	-5.8%					
かき	12	71.4%	291	0.0%	13	44.4%	470	-0.6%					
ほたて貝	93	13.4%	339	11.9%	128	-4.5%	501	-2.1%					
他の貝	29	-21.6%	125	-11.3%	45	-8.2%	183	-9.4%					

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年5月版)の発行は、平成21年7月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344